



こんにちは。地球温暖化対策推進室です。今回は先月号に引き続き、現在策定中の地球温暖化対策実行計画の策定状況についてご紹介いたします。少し難しい言葉などが登場しますが、ぜひ最後までお読みいただけると嬉しいです。

前回のおまぐち

町では、温室効果ガスの排出抑制を推進する総合的な計画である、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定中です。計画の目標として、2050年に温室効果ガス排出量が実質マイナスとなる「カーボンネガティブ」の実現を目指すこととしています。計画の詳細については、ゼロカーボン通信VOL.7及びVOL.15をご覧ください。



ゼロカーボン通信 VOL.7



ゼロカーボン通信 VOL.15

2050年カーボンネガティブの達成に向けた中期目標と長期目標
実行計画では、2050年「カーボンネガティブ」の実現のための目標を以下のように設定しています。

近年で最も温室効果ガス排出量が多かった2019年を基準年とし、中期目標として2030年度に基準年度比で48%の削減、そして2050年に「カーボンネガティブ」が実現することを長期目標として設定しています。
また、将来的な温室効果ガス排出量の算出には、現状趨勢ケースの推計を行っています。（次ページ「※」参照）



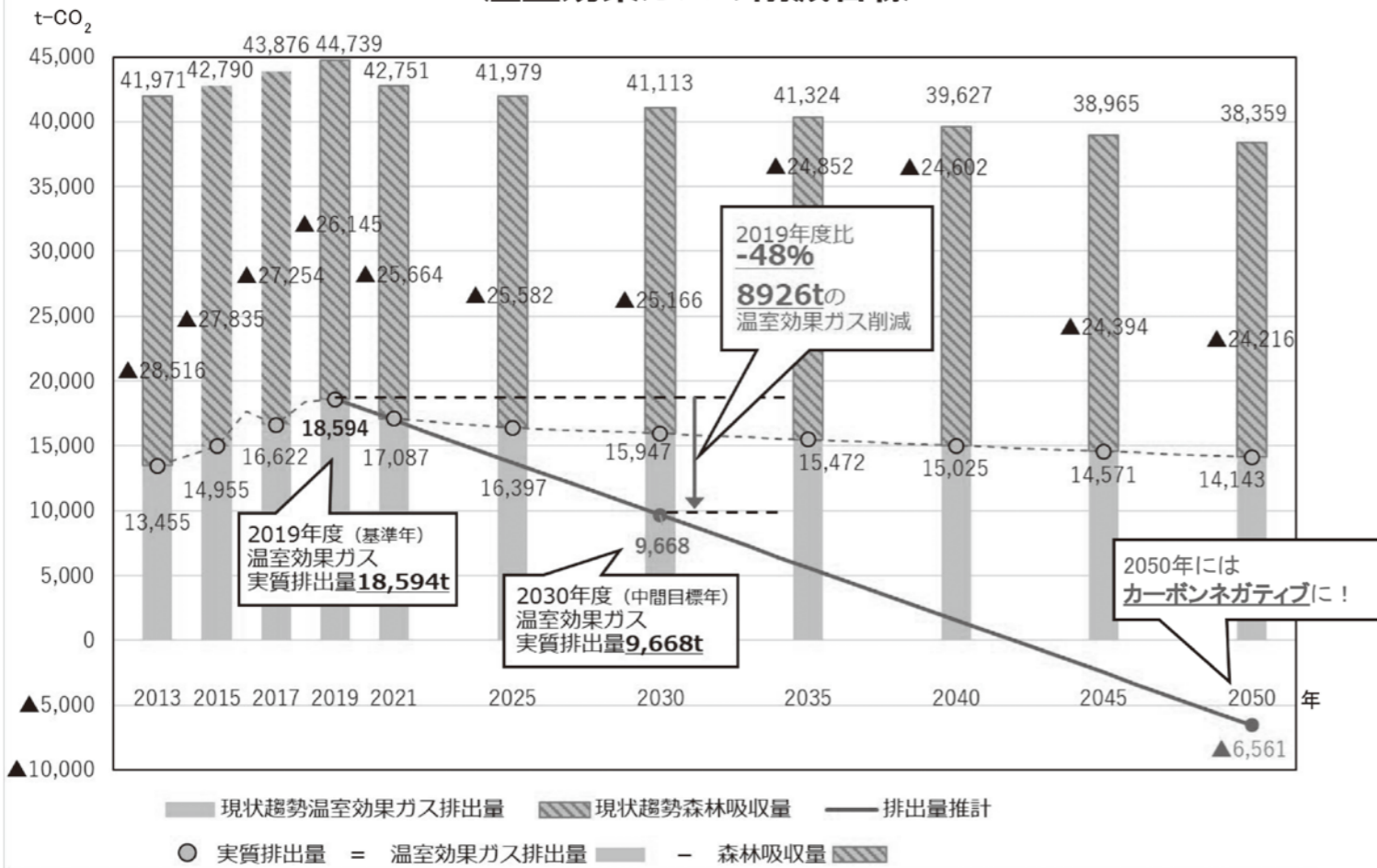
温室効果ガス排出量の中期目標

2030年度に2019年度比で48%削減

温室効果ガス排出量の長期目標

2050年度までに温室効果ガス排出実質マイナスとなる「カーボンネガティブ」の実現

温室効果ガスの削減目標



Check! ※現状趨勢(げんじょうすうせい)ケースとは

現状趨勢（げんじょうすうせい）ケースとは、現状の地球温暖化対策のみで、将来に向けて今まで以上の対策をせず、人口や世帯数などが変化する場合は温室効果ガス排出量を算出することを言います。この現状趨勢ケースは、長期の将来推計を検討するための基礎となります。

今回は実行計画の中期目標と長期目標についてご紹介しました。
この目標を設定するための基礎になるデータや、詳細な推計なども実行計画に記載しています。興味のある人は、今後計画素案を策定後、公開し町民の皆様からご意見をいただく予定ですので、ぜひご覧ください。



しまかわゼロカーボン通信
バックナンバーはこちら↓

